

2025年(令和7年)5月30日(金曜日)

所議校高

SDGsコンテスト アイデアや実践報告募る

富士宮高校会議所は「第6回SDGsコンテスト」を実施するため、持続可能な地域社会づくりのアイデアや実践報告などを6月1日

(日)から募集する。「一般部門」と、同会議所が開発したオリジナルのリサイクル堆肥を利用した「マスマス元肥(げんぴ)部門」を設け

ている。SDGsに掲げられた開発目標を地域の活性化に生かすために企画した。「世界中で起きているさまざまな問題に目を向け、まずは身近な問題の解決について、できることは何かを考えてみませんか」と呼び掛けている。

一般部門は、SDGsの17項目のゴール達成に向けて、持続可能な地域社会をつくるために自分にできることの提案、もしくは実践例(17項目のうちから選択。複数選択可)。

マスマス元肥部門は、マスマス元肥を利用した耕作放棄地の再生、野菜・花・果樹などの栽培、それらを使った食品加工作りなどの実践報告。マスマス元肥はSDGs実践として、市の魚ニジマスの残渣(ざんさ)と朝霧高原の牛ふんを使って開発した堆肥。JAふじ伊豆ふじのみや資材館で販売している。

両部門ともA4用紙一枚にまとめて応募する。郵送、持参、メール、公式ラインで受け付ける。詳しくは公式ウェブサイトで。締め切りは11月30日(日)。審査で各賞を決め、12月19日(金)に表彰式を西町レトロ館で開く。